

東北地方 3か月予報

(2月から4月までの天候見通し)

平成24年1月25日
仙台管区気象台発表

<予想される向こう3か月の天候>

向こう3か月の出現の可能性が最も大きい天候と、特徴のある気温、降水量等の確率は以下のとあります。

この期間の降水量は、東北日本海側で平年並または多い確率ともに40%です。東北日本海側の降雪量は、平年並または多い確率ともに40%です。

2月 東北日本海側では、平年に比べ曇りや雪の日が多いでしょう。東北太平洋側では、平年に比べ晴れの日が多い見込みです。

気温は、平年並または低い確率ともに40%です。降水量は、東北日本海側で平年並または多い確率ともに40%、東北太平洋側で平年並または少ない確率ともに40%です。

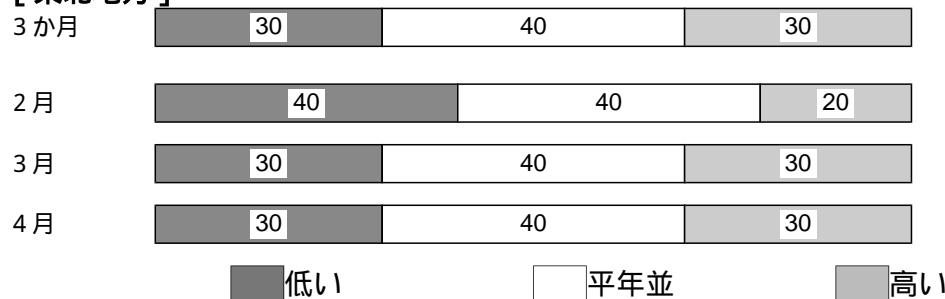
3月 東北日本海側では、天気は数日の周期で変わり、平年と同様に曇りや雨または雪の日が多いでしょう。東北太平洋側では、天気は数日の周期で変わり、平年と同様に晴れの日が多い見込みです。

4月 天気は数日の周期で変わるでしょう。平年と同様に晴れの日が多い見込みです。

<向こう3か月の気温、降水量、降雪量の各階級の確率(%)>

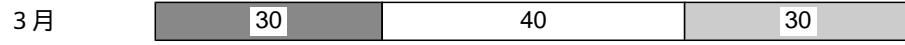
<<気温>>

[東北地方]

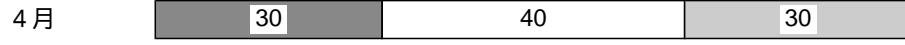


<<降水量>>

[東北日本海側]



[東北太平洋側]



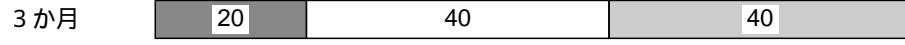
 少ない

 平年並

 多い

<<降雪量>>

[東北日本海側]



 少ない

 平年並

 多い

<次回発表予定等>

1か月予報：毎週金曜日 14時30分 次回は1月27日

3か月予報：2月23日(木) 14時

暖候期予報：2月23日(木) 14時

なお、2月の予報については、新しい資料による次回以降の1か月予報を適宜ご利用ください。

<参考資料(平年並の範囲等)>

(1) 平年値(月・3か月平均気温、降水量、日照時間、降雪量)

	気温()				降水量(mm)				日照時間(時間)			
	2月	3月	4月	2月~4月	2月	3月	4月	2月~4月	2月	3月	4月	2月~4月
青森	-0.7	2.4	8.3	3.3	111.0	69.9	63.4	244.3	69.8	130.5	182.3	382.6
深浦	0.1	2.9	8.5	3.8	78.0	78.0	87.1	243.1	46.5	110.1	173.0	329.6
むつ	-1.2	1.8	7.4	2.7	82.9	82.0	80.7	245.7	91.3	146.4	188.5	426.1
八戸	-0.5	2.7	8.5	3.5	40.1	52.0	64.3	156.3	129.6	168.1	188.9	486.7
秋田	0.5	3.6	9.6	4.6	89.1	96.5	112.8	298.3	62.5	124.7	170.4	357.6
盛岡	-1.2	2.2	8.6	3.2	48.7	80.5	87.5	216.6	127.5	160.4	173.7	461.6
大船渡	1.1	3.8	9.2	4.7	45.5	98.0	142.8	286.2	136.9	157.6	173.0	467.5
宮古	0.4	3.3	8.7	4.2	60.1	82.1	100.6	242.7	152.9	178.6	189.3	521.0
仙台	2.0	4.9	10.3	5.8	38.4	68.2	97.6	204.3	151.8	177.0	188.5	517.3
石巻	1.2	4.1	9.4	4.9	35.1	71.1	93.2	199.3	163.1	185.0	191.3	539.3
山形	0.1	3.5	10.1	4.5	62.7	68.6	68.4	199.7	98.9	140.3	176.1	415.4
新庄	-0.7	2.2	8.5	3.3	138.9	115.9	96.3	351.1	57.7	111.9	156.4	327.4
酒田	1.9	4.6	10.2	5.6	114.0	106.7	102.4	323.1	59.2	117.2	172.4	348.8
福島	2.2	5.3	11.5	6.3	44.3	75.6	81.0	200.9	142.3	174.2	186.4	502.9
若松	-0.1	3.3	10.0	4.4	71.4	71.7	64.3	207.4	98.8	138.2	172.7	409.7
白河	0.8	3.9	10.0	4.9	38.5	78.2	96.4	213.1	152.4	176.8	182.6	513.2
小名浜	4.0	6.6	11.3	7.3	58.0	107.5	125.3	290.8	177.9	185.5	188.8	552.2

	降雪量(cm)			
	2月	3月	4月	2月~4月
青森	176	76	6	258
深浦	92	40	2	133
むつ	143	89	5	238
八戸	75	47	3	125
秋田	108	43	1	152
盛岡	74	46	4	124
大船渡	23	13	1	37
宮古	55	40	3	98
仙台	23	14	1	38
石巻	20	11	1	31
山形	125	57	3	185
新庄	217	126	14	356
酒田	98	35	1	134
福島	57	24	1	83
若松	142	66	5	213
白河	47	27	3	77
小名浜	-	-	-	-

欠測により平年値を求めるための資料年数(観測値のある年数)が各月毎に異なることなどにより、3か月平年値等が各月の平年値から求めた値と一致しないことがあります。小名浜の降雪量の平年値はありません。

(2) 1981~2010年のデータに基づいたこの予報期間の地域平均の気温、降水量、降雪量の平年差(比)の「平年並」の範囲は次のとおりです。

要素	予報対象地域	2月	3月	4月	2月~4月
気温平年差()	東北地方	-0.2 ~ +0.4	-0.4 ~ +0.3	-0.4 ~ +0.5	-0.4 ~ +0.3
	東北日本海側	-0.2 ~ +0.5	-0.4 ~ +0.2	-0.4 ~ +0.3	-0.4 ~ +0.3
	東北太平洋側	-0.2 ~ +0.5	-0.4 ~ +0.3	-0.2 ~ +0.5	-0.3 ~ +0.3
降水量平年比(%)	東北地方	85 ~ 110	89 ~ 116	88 ~ 115	93 ~ 112
	東北日本海側	90 ~ 110	85 ~ 116	89 ~ 115	95 ~ 107
	東北太平洋側	72 ~ 116	82 ~ 115	81 ~ 118	87 ~ 113
降雪量平年比(%)	東北地方	78 ~ 112	81 ~ 119	16 ~ 85	81 ~ 122
	東北日本海側	85 ~ 119	81 ~ 128	16 ~ 65	76 ~ 121
	東北太平洋側	78 ~ 105	64 ~ 113	8 ~ 49	79 ~ 116

<参考資料(利用上の注意)>

(1) 気温(降水量)等は、「低い(少ない)」「平年並」「高い(多い)」の3つの階級で予報します。階級の幅は、1981~2010年の30年間ににおける各階級の出現率が等分(それぞれ33%)となるように決めてあります(気候的出現率と呼びます)。

(2) 予報する確率の数値は、それぞれの階級が出現する可能性の大きさを表しています。予測資料の信頼性が大きい場合には気候的出現率から大きく隔たった10%以下や60%以上の確率を付けられますが、特定の階級を強調できない場合には気候的出現率と同じかそれと同程度(30%、40%)の確率しか付けられません。

(3) 晴れや雨などの天気日数は、平年の日数よりも多い(少ない)場合は「平年に比べて多い(少ない)」、また平年の日数と同程度に多い(少ない)場合には「平年と同様に多い(少ない)」と表現します。

東北地方 3か月予報解説資料（2～4月）

平成24年1月25日 仙台管区気象台

1. 向こう3か月の確率予報の特徴

各階級の確率の偏りが小さい場合は記述していない。

2～4月	降水量は、東北日本海側で平年並または多い確率とともに40%です。 東北日本海側の降雪量は、平年並または多い確率とともに40%です。
2月	気温は、平年並または低い確率とともに40%です。 降水量は、東北日本海側で平年並または多い確率とともに40%、東北太平洋側で平年並または少ない確率とともに40%です。
3月	
4月	

2月は低温傾向の予報ですが、寒気の動向の予報については不確実性が大きいので、常に最新の1か月予報を利用してください。

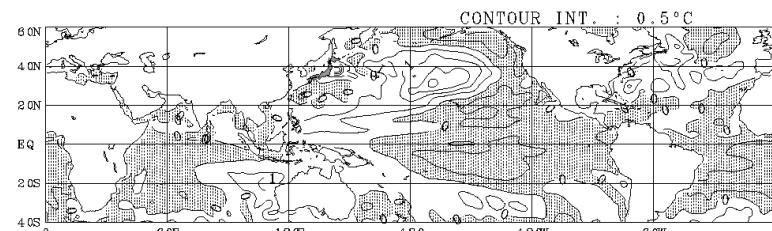
2. 数値予報による海洋と大気の流れの予想

海面水温（上図）は、西部太平洋の熱帯域では平年より高く、中・東部太平洋熱帯域では平年より低い。ラニーニャ現象は春の間に終息する可能性が高いが、ラニーニャ現象時のパターンが持続する見込み。

熱帯の対流活動（図略）は、西部太平洋で平年より活発、中・東部太平洋で平年より不活発の見込み。

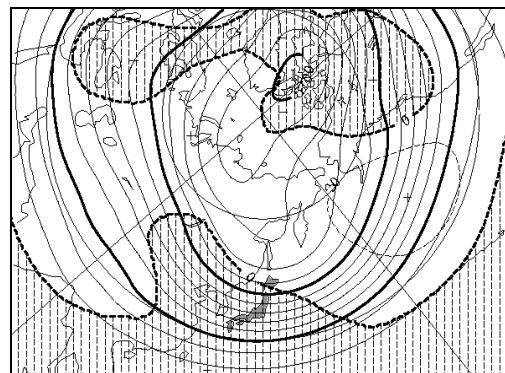
500hPa高度（中図）は、アラスカの南で顕著な正偏差であり、熱帯の対流活動の偏差に対応して、北太平洋とチベット付近で偏西風が平年より北を流れるため高度が高く、これらに挟まれる日本付近では高度が低く平年より寒気の影響を受けやすい見込み。寒気の影響は東日本以西で大きく、北日本では小さいと見られる。

東北地方の3か月平均気温は平年並が予想されるが、2月は寒気の影響を受けやすく低温傾向となり、東北日本海側では多雪傾向となる見込み。



3か月平均の海面水温偏差の予想図

等値線間隔は0.5°C。陰影部は負偏差。



3か月平均の500hPa高度と偏差の予想図

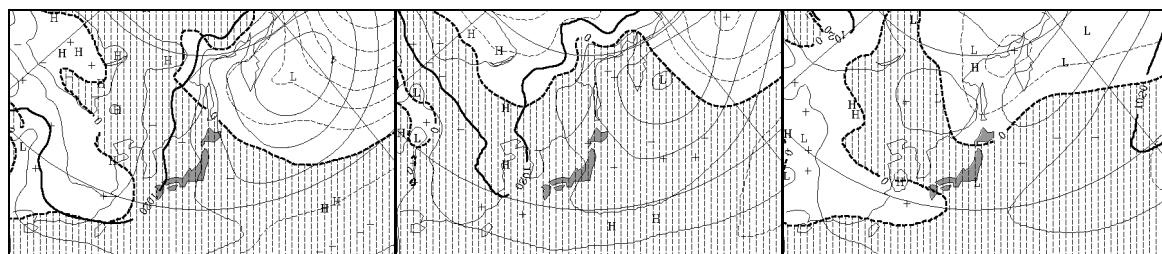
実線は高度（間隔60m）、点線は偏差（間隔30m）。陰影部は負偏差で一般に寒気に対応し、白抜きは正偏差で一般に暖気に対応する。

月別の予想（下図）

2月：冬型の気圧配置が強く、東北地方は寒気の影響を受けやすい。日本付近は負偏差におおわれ、低温傾向となり、東北日本海側では多雪傾向、東北太平洋側では少雨傾向となる見込み。

3月：冬型の気圧配置は緩んできて、高気圧と低気圧が交互に通り天気は数日の周期で変わるようにになる。日本付近からカムチャツカ付近にかけて広く負偏差におおわれる。冬型の気圧配置が強まり、寒気の影響を受ける時期がある見込み。

4月：高気圧と低気圧が交互に通り天気は数日の周期で変わる。東北地方は平年と同様に晴れの日が多い見込み。



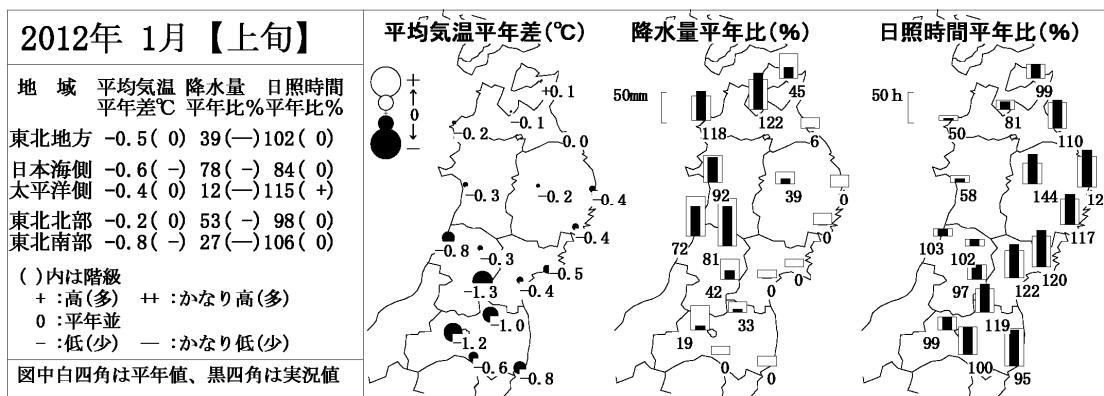
月平均の海面気圧と偏差の予想図

左から2月、3月、4月。実線は海面気圧（間隔4hPa）、点線は偏差（間隔1hPa）。陰影部は負偏差。

3. 最近の天候経過

1月上旬：期間のはじめに低気圧が通過し、その後冬型の気圧配置となった。東北日本海側では曇りや雪の日が多く、東北太平洋側では晴れの日が多かった。4日から8日にかけては、寒気が南下し冬型の気圧配置が強まったため、東北日本海側を中心に大雪となつたところがあった。

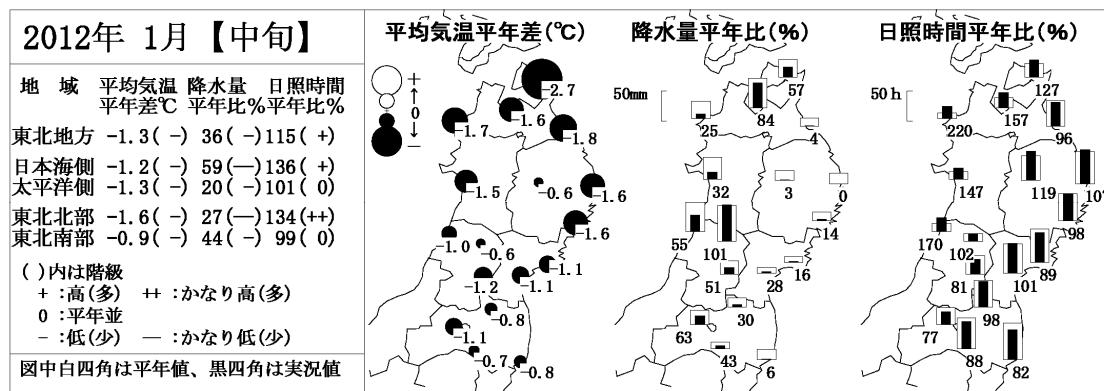
平均気温は東北北部で平年並、東北南部で低い。降水量は東北日本海側で少なく、東北太平洋側でかなり少ない。日照時間は東北日本海側で平年並、東北太平洋側で多い。



1月上旬の平均気温、降水量及び日照時間の平年差（比）

1月中旬：期間の前半は冬型の気圧配置が続き、期間の後半は冬型の気圧配置が緩んで大陸から高気圧が張り出した。東北日本海側では期間の前半は曇りや雪の日が多く、期間の後半は晴れの日が多かった。東北太平洋側では晴れの日が多かった。11日から14日にかけては寒気が南下し冬型の気圧配置が強まったため、東北日本海側を中心に大雪となつたところがあった。また、寒気が流れ込みやすく期間の前半を中心に低温となつた。

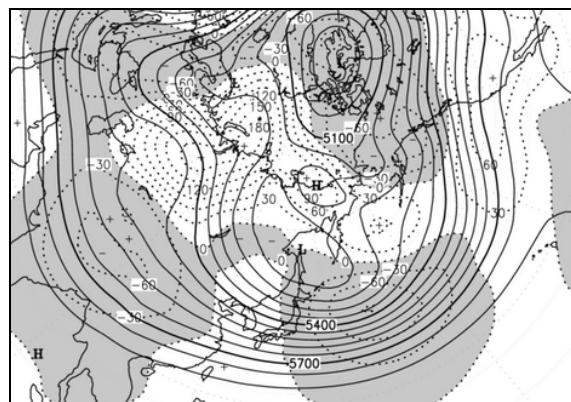
平均気温は東北地方で低い。降水量は東北日本海側でかなり少なく、東北太平洋側で少ない。日照時間は東北北部でかなり多く、東北南部で平年並。



1月中旬の平均気温、降水量及び日照時間の平年差（比）

4. 今月の循環場の特徴

1月(20日まで)：500hPa高度は、偏西風の蛇行が明瞭で、中央シベリアとベーリング海付近で気圧の尾根が発達し正偏差となった一方、オホーツク海から日本の東で気圧の谷が深まり、日本付近は北日本を中心に負偏差となった。シベリア高気圧は平年より強く、日本の東で低気圧が発達し、冬型の気圧配置が強まった。東北地方は、寒気が流れ込みやすく、中旬を中心に低温となつた。



1月1日～20日の平均500hPa高度
実線は高度（間隔60m）、点線は偏差（間隔30m）。陰影部は負偏差。

＜参考資料＞

平年の天気出現日数（日）

	青 森		秋 田		盛 岡		仙 台		山 形		福 島	
	晴れ	降水	晴れ	降水	晴れ	降水	晴れ	降水	晴れ	降水	晴れ	降水
2月	5. 9	18. 8	5. 1	16. 8	15. 6	8. 2	19. 0	5. 0	10. 8	12. 4	17. 6	7. 1
3月	12. 7	13. 9	12. 0	14. 7	17. 6	11. 2	19. 4	7. 2	14. 4	11. 7	19. 2	8. 2
4月	17. 2	9. 4	16. 0	11. 3	16. 6	10. 5	18. 0	8. 0	16. 6	9. 1	18. 2	7. 4

晴れ日数は「日照率40%以上の日数」、降水日数は「日降水量1mm以上の日数」。